

2021年 5月31日

核融合科学研究所の新展開

「ユニット」と「プラットフォーム」

核融合科学研究所

吉田善章

Post LHD 時代へ向けて

2017

LHD プロジェクト
(フロンティア促進事業)

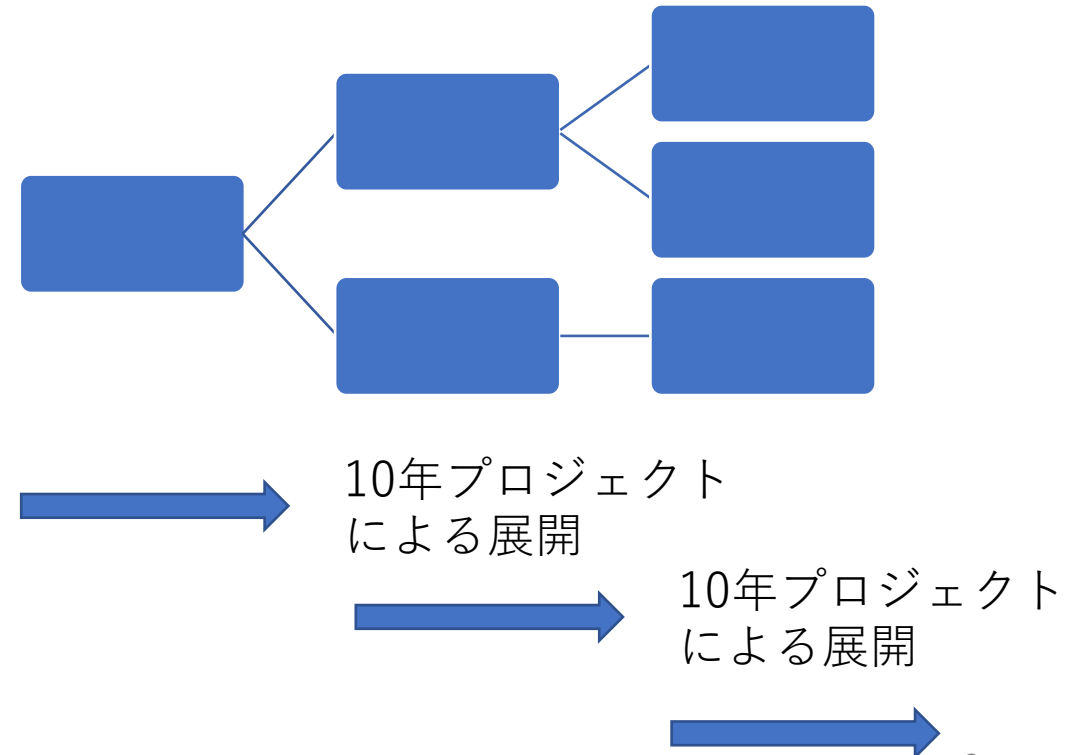
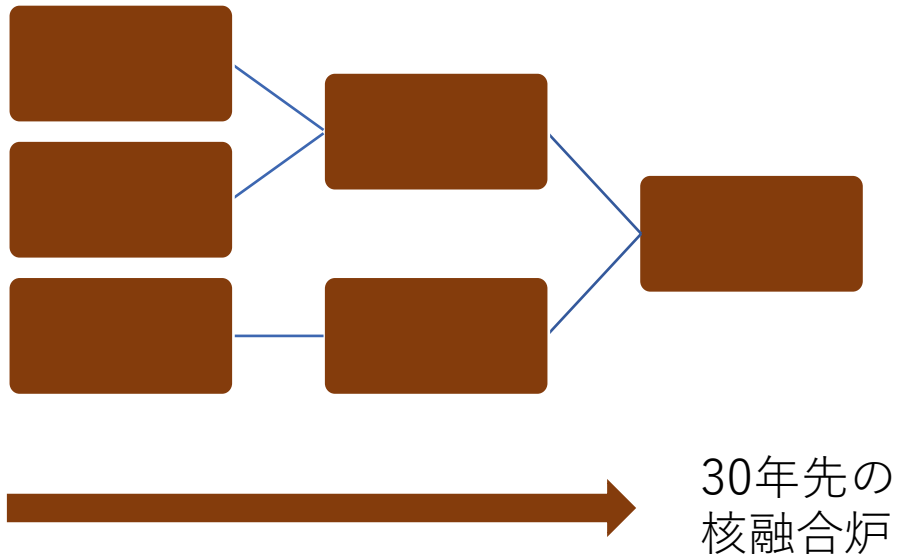
2022

post LHD
学術的展開

- LHDの総括 → 学術の「遺伝子」を拡散させる
- **ユニット** = 学術的テーマのもとに結集する研究チーム
- **プラットフォーム** = 学術研究基盤

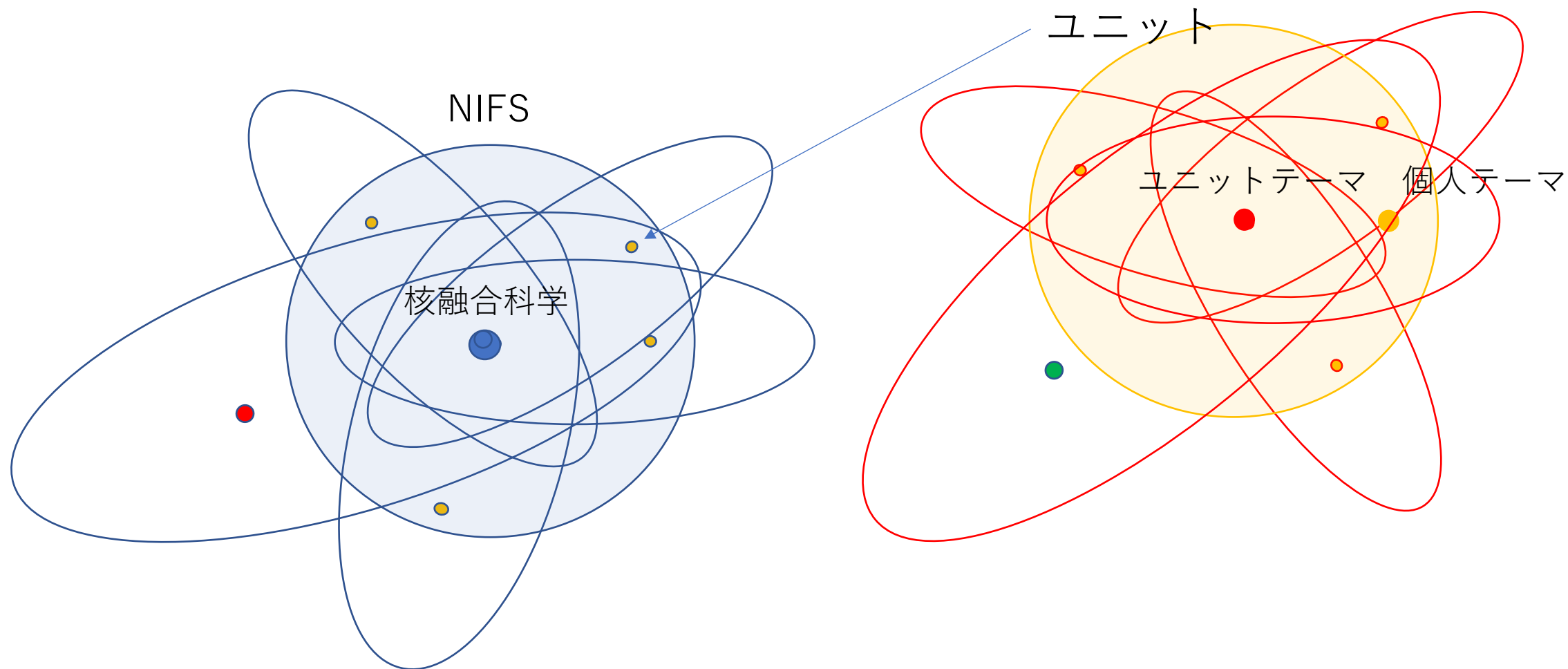
集中から展開へ

- 科学・技術の「束」としての核融合を「分節化」
- それぞれの「テーマ」の自由な展開
- 広く展開する「街道」たる核融合科学研究所



独立した機能体としての「ユニット」

楕円： 個別性と共通性の統一



「ユニットテーマ」の考え方

- 未来志向であること （既存のテーマの後追いでない）
- 目標を具体的に示していること （永遠のテーマでない）
- 10年後に学术界に輝くテーマに育つこと （月並みでない）
- 多様な「個人のテーマ」を包摂できること （独りよがりでない）

機能体 Gesellschaft の成立要件

(1) aim, (2) member's ability, (3) ethics (respect), (4) information, (5) governance